

## 平成16年度第4回尾張旭市交通問題懇話会

### 1 開催日時

平成16年7月27日(火)

開会 午前10時

閉会 正午

### 2 開催場所

尾張旭市役所 南庁舎2階 201会議室

### 3 出席者名

会長：加藤哲男 副会長：黒田鉦司

構成員：大澤一夫、荻原善夫、奥野昌明、加藤桃代、苅谷勝、近藤重男、  
櫻井栄二、田中悦子、寺田千珠子、戸松秀男、服部正勝、  
林喜一、日比野正夫

顧問：伊豆原浩二

事務局：加藤和人、秋田誠、長江均、森重憲、森純子、大和弘明

### 4 議題等

- (1) 第3回交通問題懇話会会議概要の確認について
- (2) 停留所等について
- (3) 利用料金について
- (4) その他

### 5 会議の要旨

#### (1) 第3回交通問題懇話会会議概要の確認について

第3回の懇話会会議概要の内容確認において特に異議がなかったため、ホームページに掲載することを了承。

#### (2) 停留所等について

(事務局)

構成員からいただいた意見をもとに走行すると、総距離が9kmを超えるとともに乗車時間が30分を超える状況になり、定時走行に支障を来すことが考えられる。前回顧問から指摘があったとおり8km程度が望ましいということと、停留所等の決定に際してルート案の確定が必要になるため、改めて事務局でルート案を作成した。この変更案ではショッピングセンター(市役所)、保健福祉センターには3ルートとも接続するようにした。ただし、意見をいただいていた西ルートの平子公民館、東名西町、東ルートのサンステージを通る件

については、距離、時間ともに延びてしまうため、なかなか難しい。乗車時間30分を念頭に置き、構成員の意見をできるかぎり尊重して作成したつもりだが、全ての希望を満たすことはできない。これらのことを考慮して意見をもらいたい。

(会長)

乗車時間を30分とするためルートを短くしたいという事務局からの提案について構成員のみなさんの意見を聞きたい。まず、停留所が尾張旭駅前から市役所に変更になった点について。

(構成員)

良い案だと思う。市民会館付近が停留所になるのか、その確認をしたい。あと、駅の北側にはエスカレーターがあるが、南側にはエスカレーターがない。将来、機会があれば名鉄にエスカレーター設置を働きかけてもらいたい。

(事務局)

市民会館には体育館のロータリーがあり、何かと混雑が予想されるので、市役所の西玄関を考えている。将来的には市役所敷地内で駅に近いところに停留所を整備できれば一番良い。

(会長)

尾張旭駅から階段を下りて市役所へ来るのに意外と距離があるので、この辺については将来的な課題になる。

(構成員)

事務局は市役所とアスカを比べると、市役所へのアクセスが多いと判断したのか。アスカへの乗り入れを折衝してほしい。(将来の課題として今からお願いしたい。)

(構成員)

アスカにするか市役所にするか、どちらにしても距離的にそんなに変わらない。停留所は事務局案の市役所西玄関で構わない。

(構成員)

買い物をしてカートを引きながら日傘を差しながら歩く人にとっては大きな違いだと思う。

(会長)

アスカへの乗り入れについては、今後の課題として事務局に検討をお願いしたいと思う。

次に西ルートではどうか。

(構成員)

地域の人に聞いてルートを考えて提案したのが、一方的に東名西町を通らないルート作成になっており、私は反対である。時間的にという理由だけでは納得できない。

(事務局)

いろいろな意見を反映させたルートでは、実際に走行してみると30分の乗車時間の実現は無理である。30分を念頭において8km前半のルートを考えてみると、回れるところには限界がある。30分定時走行を諦め、40分以上でもよいということになればそれでもよいが、停留所の申請等の事務的スケジュールを考えると、そろそろこの点についても決断をしなければならない時期に入っている。

(構成員)

私はルートについては格別の異論はなく、事務局案でよいかと思うが、団体の代表の方はそれぞれの所属の団体に帰って説明しなければならない立場だから、ひとつひとつの問題について、もう少しじっくり議論する必要がある。

(会長)

事務局も皆の意見を聞き、いろいろ考えてくれているが、事務局は30分という乗車時間を重視して案を作成したために一部のルートに修正が必要になった。30分定時の確保について意見があれば、構成員の皆さんの意見を伺いたい。

(構成員)

30分をリミットとした根拠は何か。

(会長)

35分や40分になると、1時間ごとに到着時刻が延びていき、乗車しづらいことと(ダイヤが覚えづらい)、乗車時間の忍耐は30分程度と考えられることの2点が根拠かと思う。

(構成員)

30分という制限を守るためには、停留所を減らしてもよいのではないか。そうすればサンステージも通れないか。

(事務局)

サンステージについては大幅に距離が延びるため、停留所を多少減らしても30分以内での走行はできないと思われる。

(構成員)

東部市民センターは本当に利用者が多いのか。東部市民センターを外してサンステージに回してもよいのではないか。サンステージの方が利用者が多いと思う。

(顧問)

堂々巡りになってしまうので、乗車時間を40分まで我慢しようかということになれば別だが、30分にすれば必ずどこかのルートを通らなければならない。まず、30分にするのか40分にするのかを決めなければルートは決まらない。

(構成員)

シャトルだから終着駅で時間調整をすると思うが、ちゃんと定時に到着するのか。

(顧問)

途中途中で時間調整を行う。早く停留所を通過することは許されないので、停留所でそれぞれ停まって調整している。

(会長)

7月いっぱいの決定をもって警察等に協議しなければならないと思うが、できるだけ皆の意見を聞きたい。

(構成員)

問題点がたくさんあるのは事実。とにかくゼロからやってみようということだから、いろいろな問題があっても事務局案を尊重して一旦現時点での決定を行い、これから先試験運行を行う中で改めて検討し、発展させればよいのではないか。

(構成員)

庄中町の住民は、比較的バスについて積極的ではない。そこで渋川福祉センターをやめて、ユーストアでUターンしてはどうか。そうすれば東名西町も回れる。

(構成員)

渋川福祉センターへ行く人は多い。

(会長)

初めての試みだから十分検討は必要だが、事務局には時間的・予算的に制約のある中で案を作成してもらっている。他にも意見をいただきたい。

(構成員)

サンステージまで行くと片道800mくらい距離が延びるのか。

(事務局)

片道900m弱は距離が延びる。

(構成員)

実際に走行してみると、ルート毎の走行時間はどの程度か。

(事務局)

停留所を意識せずに走行すると、西ルートは24分、東ルートは21分、南ルートは19分であった。停留所での乗降を含めると、事務局案でも東ルート、西ルート、特に西ルートについては30分走行ができるか難しい面もある。

(構成員)

全部の停留所で停まるわけではないので、西ルートについては前回の案（東名西町を通るルート）で大丈夫ではないか。まだ余裕があるのではないか。

(構成員)

個人的に、昨日夕方4時に市役所を出発して西ルート（平子公民館を通るルート）を走行したが、32分かかった。

(顧問)

乗らない停留所を考えてダイヤは組めないし、そんな考え方では問題がある。全部の停留所で乗る人がいるという前提でダイヤを組まないといけない。

(構成員)

試験運行の期間はいつまでか。

(会長)

11月からの5ヶ月で、その後見直し時期になる。

(事務局)

試験期間は概ね1年半から2年間を予定。年度区切りで見直しを図っていく。

(顧問)

実施途中での停留所の変更には、警察協議等をその都度行わなければならないため、時間がかかる。仮に4月から変更するのであれば、2月頃から検討しなければならない。

(構成員)

本格運行は2年先ということに聞こえたが、試験運行開始から起算して2年先なのか。

(事務局)

今年の11月から試験運行とすると1年半から2年は試験運行期間としたい。

(構成員)

試験運行期間内の見直し内容には、ルートや停留所のほか、車種や運行本数の増加も含まれるのか。

(事務局)

その方が良いものができると思う。

(会長)

スケジュール表を見ると、1年間は見直しを行わないともとれる記述になっているが、臨機応変に考えていくという確認は事務局との間でしている。

(構成員)

試験運行について、事務局案で設定している3コースを2台で走行するのは便利さが不十分である。公共交通は地域の人みんなに便利で、お年寄りにやさしく、親しみのあるものでなければいけないと議論してきた。新年度の予算要求

は3台分が必要。ジャンボタクシーは乗りやすい車ではないし、マイクロバスの通れないのは霞ヶ丘だけである。低床式を1台でも導入してもらいたい。最初はジャンボタクシーでもよいが、発展性を考えてもらいたい。

(会長)

車種については後で議論することとして、まずはルートについてとりまとめさせてもらいたい。

(構成員)

停留所の設置はすでに許可が取ってあるのか。

(事務局)

あくまでたたき台であり、そうした事はこれからである。

(構成員)

30分ということは前回一度決めたことでもあるので、まずはそれを前提としてはどうか。その条件の中で渋川福祉センターを南ルートに組み入れるという案も検討できるのではないか。

(構成員)

渋川福祉センターは自分自身週に2回行くが、確かに利用者は多い。何らかの形で渋川福祉センターへは回さなければならない。南ルートに組み入れるのは良い考えである。そうすれば東名西町も通れるのではないか。

(構成員)

そういうルートであれば承認できる。

(会長)

渋川福祉センターを南ルートに組み入れて、西ルートはユースストアが終点という形で懇話会の提案にさせていただきたい。30分をベースに考えていくということで決定させていただく。

(事務局)

渋川福祉センターの提案については修正させていただき、申請等の作業を行っていききたい。停留所などについては調査等も必要で課題がたくさんあるが、構成員の方をグループ別に分け、実際に走ってみて、各ルート個別に相談させていただきたい。

(会長)

懇話会の席以外にも事務局から相談があるかもしれないので、構成員の皆様にはよろしくお願ひしたい。

### (3) 利用料金について

(事務局)

福祉的な施策ではないし、既設の交通事業者とのバランスを考えると基本的に200円をたたき台として議論していきたい。子ども料金や乗り継ぎについても検討しなければならない。

(会長)

たたき台として200円という提案があつたが、意見のある方は。

(構成員)

当初100円でスタートし、その後200円に値上げした例はあるのか。また、財政的な収支の試算はしているか。

(顧問)

100円から200円に値上げした例はない。無料から100円にした例はある。

(構成員)

30分ずっと乗っている人はいないから、15分ぐらいで降りて200円は高い。乗り継ぎすると400円かかるのはちょっときつい。

(構成員)

バスと電車の初乗り料金が160円というのが気になる。

(構成員)

名鉄バスでもずっと乗っている人はいない。160円を超えてはいけない。乗り継ぎしても200円というのがよい。(1ルート100円)

(構成員)

最初100円にして来年度以降200円に上げると苦情が出る。

(事務局)

料金収入が運行経費のうち、どれだけ占めるかについて紹介すると、100円であれば他市町（日進、長久手）では20%を切るぐらいで、倍の200円にすれば30%ぐらいである。本市においては、現時点では見込みは立っていない。

(構成員)

いかに乗車人数を増やすかである。料金はシンプルにするのが一番良い。100円が良い。

(構成員)

高齢者を無料にすると収入は減る。

(構成員)

三好町（100円）の場合は年々乗車人数が増えて、町が出す事業費が減っている。100円で十分。

(構成員)

障害者は割引か。本人と付き添いが無料、もしくは半額を考えてもらいたい。つまり、本人は無料で、付添い人だけから徴収をする。

(構成員)

スーパーなどからお金を出してもらおうということは考えているか。

(事務局)

今後検討していく事項である。

(構成員)

ここまで来るのに苦労してきたのだから、まずは運行させることが先決である。

(会長)

一人ずついくらが良いか発言してほしい。

→構成員ほとんどが100円を希望。ただし、障害者手帳を持っている人は無料との意見が複数あり。

(顧問)

払いやすい、わかりやすいといえは100円。乗り換え等を含めて考えれば200円でも構わない。サービスが上がれば上がった分だけの負担はしてもらいたい。永久に100円でないといけないわけではない。

(会長)

私の意見としては、コミュニティは1コインが魅力。なるべくたくさんの人に利用してもらいたい。

#### (4) その他

(事務局)

顧問よりミニバスのポンチョ（乗車定員19人であるが、全長が6m足らずでコンパクト）という車両がある旨を教えてもらい、試験運行の状況如何では、今後、こうした車両も含めて議論することも期待できる。

次回の懇話会については、8月17日（火）の午前10時から201会議室にて開催する。これまでを総まとめにして試験運行案を提示したい。

(構成員)

ジャンボタクシーの13人乗りがあると聞いたので確認してほしい。

(構成員)

新年度予算において3台の確保が必要。停留所で2時間待ちはなくした方が良いので、予算要求の努力をしてほしい。懇話会で3台要求することを決めてもらおうと事務局も要求しやすい。

(構成員)

試験運行の実施にあたっては、データを収集する必要があるので、この準備をしなければならない。これは車両やルート案にハンディキャップを持った試験運行であるので、評価基準をどのように作るのかも課題である。試験運行であることの制限には一旦目をつむり、しっかりPR活動しなければ誰も乗ってくれない。いろいろな組織に訴えかけなければならない。PR活動と評価基準が大事である。

(構成員)

予定でいくと第5回は総合調整になっているが、内容的には時刻表など細かく検討するのか。試験運行直前になるので、各グループに情報提供したいし、

資料をできるだけ早くもらいたい。

運行業者は決まっているのかも教えてほしい。

(会長)

ご意見は伺いましたので、次回の会議のうちに説明します。